

## 検査内容変更のお知らせ

拝啓 平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび下記検査項目におきまして、現行試薬販売中止にともない改良試薬への変更および従来の検査材料以外に「うがい液」での測定が可能となります。なお淋菌およびクラミジアトラコマティスを同時依頼された際は、報告書の表記を「淋菌クラミジア同時(PCR)」へと自動的に表示変更させていただきますので、ご案内いたします。

今後とも引き続きお引き立てのほど、よろしくお願い申し上げます。

敬具

**記**

〈実施日〉

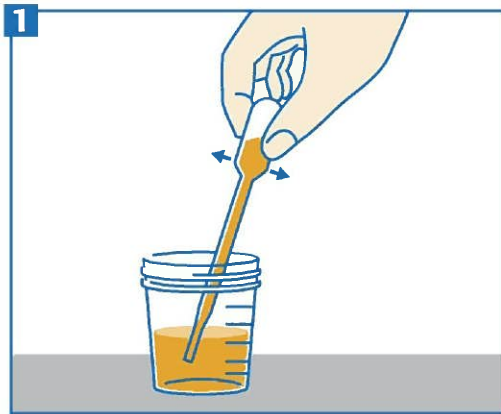
2013年1月15日(火) ご依頼分より

〈変更内容〉

項目コード	項目名称	変更箇所	新	旧
5207	PCR- gonorrhea	検査方法	RT-PCR法	PCR法
5208	PCR- Chlamydia	検査材料	初尿 子宮頸管ぬぐい液 うがい液	初尿 子宮頸管ぬぐい液
		採取容器	裏面参照 ※従来の容器での受託不可です。	

項目コード	項目名称	備考
5221	淋菌クラミジア同時(PCR)	上記の2項目を同時依頼いただいた場合または淋菌クラミジア同時増幅法での依頼を受けた場合、この項目名称にてご報告いたします。

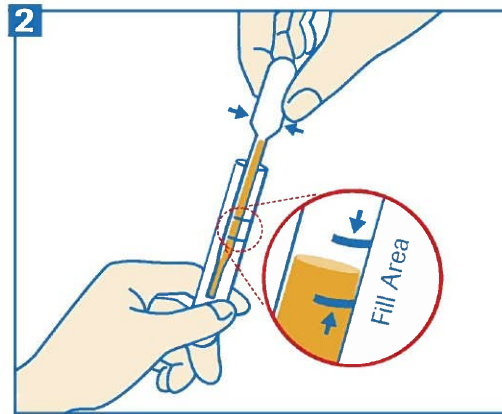
# 尿検体の採り方



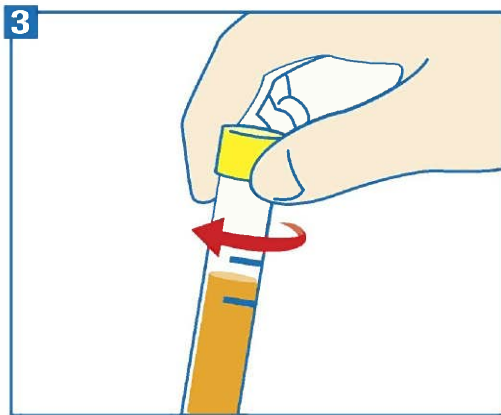
## 尿検体の採取

滅菌済み容器に初尿を採取します。  
滅菌済みスポイトを用いて、初尿をコバスPCRメディアに移します。

**注意** 初尿は採取後2～30℃で24時間以内にPCRメディアに移してください。

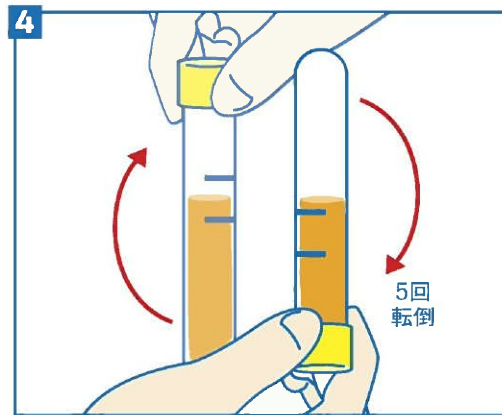


コバスPCRメディアに記載されている2つのラインの間に収まるように初尿を加えてください。



## 尿検体の保存

コバスPCRメディアの蓋をしっかりと閉めてください。



コバスPCRメディアを5回転倒混和させてください。



尿スピッツ

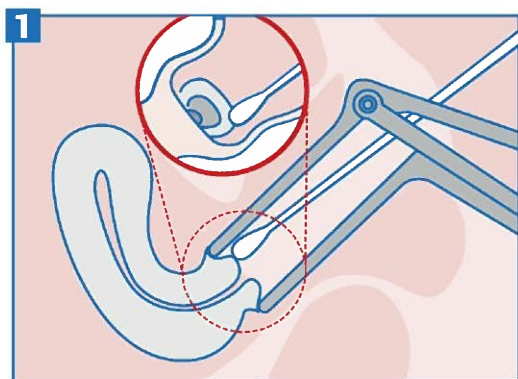
変更



尿

(RT-PCR専用容器)

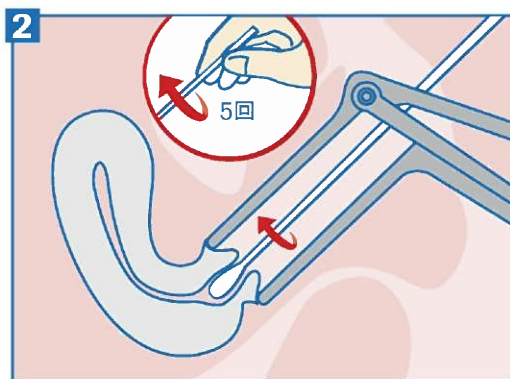
# 子宮頸管検体の採り方



## 1 子宮頸部の粘液除去

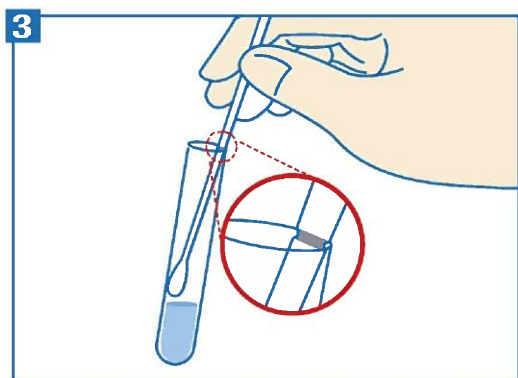
スワブ検体採取セット付属の1本目のスワブで子宮頸管とその周辺の過剰な粘液を充分拭い取ります。

**注意** 粘液を拭ったスワブは廃棄します。



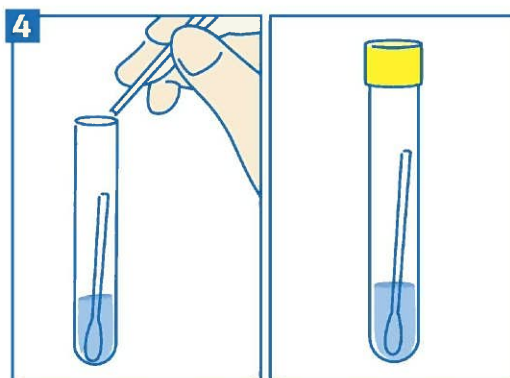
## 2 子宮頸管検体の採取

付属されている2本目のスワブを子宮頸管内に挿入します。同じ方向にそっと5回スワブを回します。(まわし過ぎないでください。) スワブを引き抜く際は腔の粘膜に触れないように注意してください。



## 3 子宮頸管検体の保存

コバスPCRメディアのキャップを開けます。採取したスワブの先端の綿球が、コバスPCRメディアの溶液に漬からないように注意しながら入れ、柄に付けられた黒い線を容器の縁に合わせます。



コバスPCRメディアの容器の縁を利用して、スワブの柄に付けられた線で折ります。コバスPCRメディアのキャップをしっかりと閉めます。

**注意** 手元に残った折られた柄は廃棄してください。スワブの柄を折る際は絶対にはさみを使用しないでください。



子宮頸管ぬぐい液



子宮頸管ぬぐい液  
(RT-PCR専用容器)

## 検体採取に必要なもの



■うがい用容器 ■生理食塩水

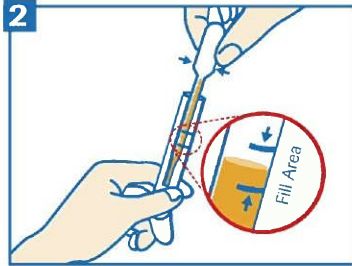
## うがい液検体の採り方



### 1 うがいの仕方

生理食塩水（日局方など）をコップに15～20mL入れてください。  
生理食塩水15～20mLを口に含み、顔を上に向けて10～20秒間、勢いよく“ガラガラ”とうがいを行います。

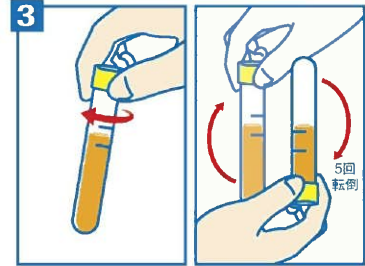
**注意** 口に含んで吐き出した液とうがい用容器に残した液を合わせてうがい液とします。



### 2 検体輸送液への懸濁

うがい液全量をうがい用容器に回収し、スポイトでコバスPCRメディア（尿・うがい用）に必要量添加します。

**注意** うがい液はコバスPCRメディアに記載されている2つのラインの間に収まるように加えてください。



### 3 検体容器の保管

PCRメディアの蓋をしっかりと閉めてください。  
PCRメディアを5回転倒混和させてください。



うがい液

(RT-PCR専用容器)